



やまがた ワカモノ 本音会議

#tamacon

take (意見を^o取り入れて) make (きっかけを^oつくる) conference (会議)

報告書

この冊子を
手に取ってくださった方へ

山形県では、進学や就職を機とした、若者の県外流出が課題となっています。そこで若者の県内定着・回帰を進めるため、県内外の山形にゆかりのある若者達がオンラインで参加し、山形の魅力や課題、もっと良くなるアイデアを話し合う「やまがたワカモノ本音会議」を開催しました。この報告書では、会議で出された若者のリアルな意見などをまとめています。若者が活躍できる「やまがた」を考えるきっかけとなれば幸いです。

山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課

山形にゆかりのあるワカモノたちがオンラインで集い、山形のことを語り合った本音会議。
当日の様様を、コーディネーターの稲村理紗さんがグラフィックでまとめてくれました

やまがた
ワカモノ
本音会議

#tamacon

コーディネーター
稲村理紗
(まちづくり
ファシリテーター)



イベントレポート ダイジェスト

2023年

9/7(木)

19:00 - 21:00

開催の目的

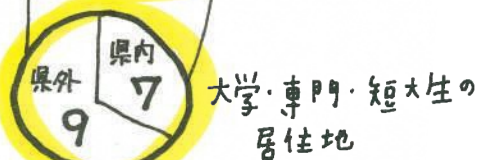
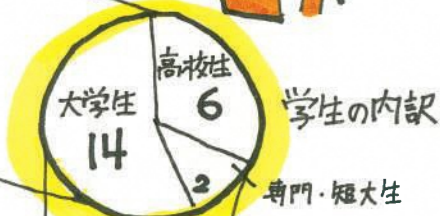
「若い世代の方々が益々活躍できる
山形」になるため
山形の魅力や課題について
オンラインで本音を語ってもらうものです

参加者 **56** 名



参加者の属性

社会人の居住地



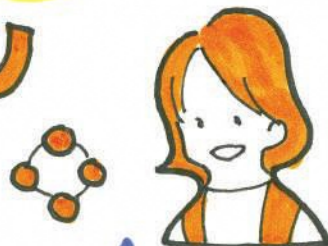
参加動機

山形へのUターンも
選択肢にあて
オンラインで気軽に
参加できるから

山形に貢献したい
気持ちがあったから

地元の過疎化が
心配だから

山形を思う
同年代の人と
知り合いたかった





まちづくりファシリテーター

稲村理紗さん

1979年秋田市生まれ、2016年より結婚を機に山形市に移住。ファンリテーションに関する研修講師、大学の非常勤講師として東北を中心に活動している。

プログラム

全体セッション

- ・オリエンテーション
- ・チャットでコミュニケーション
- ・山形県の概況説明

グループトーク

- ・4~6名に分かれてトーク
- ①山形への満足度
- ②山形の魅力や課題
- ③もっと良くなるアイデア

全体セッション

- ・グループトークのダイジェスト
- ・記念撮影



若者の
県内定着・
回帰が課題



▶ グループトークは
地域で活動している
「若者サポーター」の
皆さんが進行

参加者からの意見

▶ 食べ物が
美味しい



詳しくは
4ページ

山形の 魅力

▶ 人情味が
豊か



山形の 課題

▶ 交通が
不便



詳しくは
5ページ

▶ 学ぶ、働く、
遊ぶの選択肢が
少ない



▶ チャレンジ
できる
機会を増やす

もっと 良くなる アイデア

詳しくは
6~9ページ

▶ 働き方を
アップデート



コメント

「山形が好きだから、もっとこうなってほしい! こうして
いきたい!」という地元愛や、自らの活動や経験
で感じた課題も解決のアイデアが多く聞かれました。
若い方が本音を話したり、何かアクションを起こす際、
気軽に相談できる機会がもっと必要と実感しました。

山形
LOVE

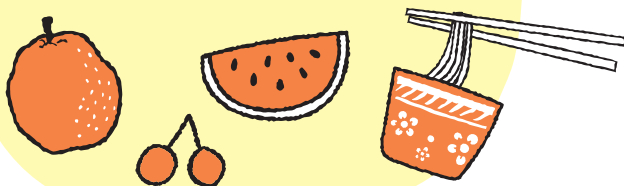


山形の魅力

おいしい食べ物、豊かな自然…。友だちに自慢したい良さがたくさんありました

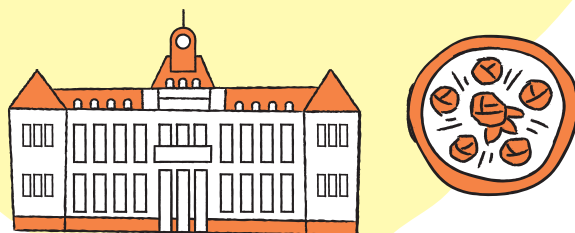
食

- 食べ物がおいしい、水がおいしい
- 特産品が多い
- 郷土料理が多く残っている
- 季節ごとにおいしい食材がある
- おいしい料理を安く並ばずに食べられる
- 食べ物が有名。おいしいものが多い。それだけでも十分戦えるコンテンツ



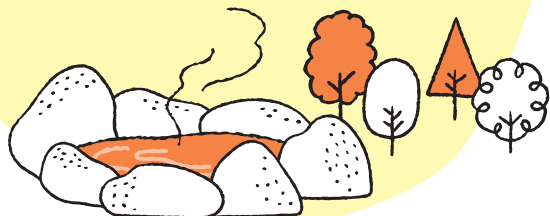
歴史・文化

- 文化度が高い
(鶴岡市のユネスコ食文化創造都市、山形市の国際ドキュメンタリー映画祭はアカデミー賞公認映画祭など枚挙にいとまがない)
- 文翔館、Q1、guraなど歴史のある建造物が多く、きれいに保存されている



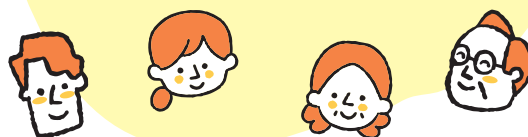
自然・環境

- 自然が豊か、四季がはっきりしている
- 温泉が多い。ほぼ全市町村に温泉があり、いつでもどこでも温泉を楽しめる。泉質が良い
- 仙台に近い。東京にも新幹線1本で行ける
- 生活にゆとりがある。満員電車のストレスと比較すると長く住むには素晴らしい環境
- 景色がきれいでアウトドアで楽しめる場所が多い
- ドライブがてら出掛けられる自然豊かな場所が多い
- 時間の流れがゆるやか
- 年齢が高くなってきたらんびり暮らせそう
- ごみが少なく環境に対する意識が高い



人

- 人が優しい
- 人とのつながりがある。ご近所付き合いやコミュニケーションが健在
- 人と人との距離が近くつながり強い
- やりたいことを言うと、応援してくれる大人とつながっていきける感じがする
- 何かやりたいと思ったとき、自由度が高い
- 学生を受け入れてくれる感覚がある
- ほどよい距離感がある
- お祭りに久しぶりに参加できるような地元のつながりがある
- 県民性が「ちょうどよい」



その他

県外の人から山形に持つ印象は悪くない。東京の友だちがわざわざ遊びにきてくれる / 幸福度は高い感じがする / 公共交通をあまり使いたくない。一人でどこにでも車で出掛けられる / 遊びに行ける場所が限られるから常連になりやすい土壌 / 自分が手掛けたSNSコンテンツを、たまたま知り合った人が知っていて、意外とバズっていることを知った。自分の仕事をほかの人が知っている喜び。こういう感覚は大事

山形の課題

山形が好きだからこそ、「もっとこうだったら!」というもどかしさもあるようです



交通インフラ



- 交通の便が悪い。Suicaが使えない
- 電車が1時間に1本しかないのはつらい。逃すと帰宅が2時間後になったりする
- 特に夕方、下校時の電車の便を増やしてほしい
- 雪で電車が遅れるのもつらい
- 自分が行きたい場所にすぐに行けない
- 米沢は学園都市といわれているのに、駅から学校が遠い
- アウトドアや自然の中で過ごせる土地柄なのに、そこに行く移動手段が車に限定される
- 祖父母を介護する両親を見て、車の移動など大変そう、ここでは老後暮らせなさそうと思う
- 良いコンテンツはたくさんあるがアクセス手段が貧弱すぎる。自家用車がない観光客が不利すぎる
- 地元民にとっても他市町村のマルシェなど楽しいコンテンツがあるが、飲んだら帰れない

娯楽の少なさ



- 遊ぶ場所が少ない。選択肢がない
- カフェなどオシャレな場所がない
- 子育て30代以降の娯楽はあるが20代の若者がふらっと行ける娯楽がない
- 遊ぶ場所は県外に行ってしまう(仙台など)
- ハイブランドの服などを買おうとしても店舗がない。ショッピングモールももっとハイブランド化しても若者は買ってくれると思うけど...



価値観のギャップ



- 役員などへの女性の登用率が低い
- 年功序列過ぎる。若い人を起用してほしい
- 狭い価値観が広がるきっかけがほしかった(親世代が「高校生でショッピングモールに化粧して行くのはおかしい」というような価値観)



学ぶ・働く選択肢の少なさ



- 学校の選択肢が少ない。設備が古く、男子校、女子校の縛りがある
- 学べる場所が少ない(大学などが選べない)
- 学校以外でも交流できる場所、自分の居場所になる場所がほしい
- 三世代同居が多い分、移住者など祖父母に頼れない家庭は子育てが大変そう
- 車社会のため、職業を選択する際に選択の幅が狭まる
- ベンチャー企業を立ち上げてみたいがどうすればよいか分からない。成功例の情報発信がない

情報発信



- 素晴らしいポテンシャルがあるのに知られていない。セールスが不足している
- 仕事を中心とした情報収集がしづらい。何かを知る機会・ツールが少ない、認知されていない
- 観光資源や美味しい農産物はたくさんあるがPRが弱く付加価値がついていない
- 例えば銀山温泉は夜景がきれいでそこが売り。でも宿泊客のみがターゲットのため日帰りで訪ねても夜は飲む場所もない。もっとニーズはあるのに...

その他

祭りの屋台を引っ張る子どもが少ない / さくらんぼ以外にもっと分かりやすいシンボルがほしい / 自治体のお金の使い方(何のためにそこに予算を使うのか分からないものが多い) / 学生と社会人の交流機会が少ない / 真面目すぎて退屈な人が多く刺激が少ない / アナログ。古い / 若者が行きたいオシャレなお店はあるが、その店のみで終わっている。周辺もオシャレになれば

山形がもっと良くなるためにー。

ワカモノたちの地元愛あふれるたくさんのアイデアが集まりました



発信

情報の伝え方が大切。

クリエイターや
YouTuberを育てる
サポートを

一人一人が

山形大使になって
宣伝する

山形の方は
すっごく優しいので、
現地の人と行く
「山形ツアー」などを
開催して山形の良さを伝える

「鉄道」などに絞った
「深く狭い」
旅行キャンペーンも
面白そう

山形が新しく
こんな良い感じに
変わった・進化した点を
具体的に情報発信

東北はひとくくりに
されがちなので、
東北の他県との
差別化が必要

県外の人にとって
「山形=さくらんぼ」の
イメージしかないので、
他のフルーツや
子育てのしやすさなどを
もっとアピールする

大人が発信するのではなく、
有名な若者インフルエンサーに
山形を見てもらい、
発信してもらうと、
新たな魅力が見つかるのでは

山形のよいところ満載の
プレミアム新幹線
などをつくって
県外にアピールする



政策

人口減少を
どうとらえるかが重要。
世界の潮流の中で
山形の立ち位置を理解し、
長期的・俯瞰的・戦略的に
政策を実行する必要がある

そもそも
人口を増やす策は
ナンセンス。
人口問題の適応策と
バランスを考える

立地条件の良さを
もっと生かす
(仙台から通勤圏内)

結局、山形に残る理由として
山形への愛着が鍵になる。
物やコトより人に投資をしては



「小規模校サミット」
みたいに
いろんな人と
話せる機会がほしい

「はじめの一步」
を作れる
場所があると良い

年功序列で頑張りが
評価されない。
面白いことに
チャレンジする
機会をつくる

若い人がもっと
やりたいことに
チャレンジできる
環境づくり
(費用の支援など)

昔気質で何をやっても
どうせ上の人が
決めてしまう。
上の人に直接意見を
言える場もほしい

対面で、思いを叫ぶ場所。
そしてそれをどんどん発信する。
叫んでいる人を見ると、
自分も意見していいのかもと思える。
いろんな活動をしている人を
知ることができる

山形でも探せば
自分がやりたい活動の場がある。
大学と県内の大人、企業、個人事業主が
連携して「山形でもこんな人が
いるんだよ・こんな活動できますよ」
と継続的に発信することが、
山形への愛着がわく要因になりえる

山形でしか
できないイベントに
学生が「おもてなし」
する側として参加する。
改めて山形愛を
感じる機会になる

若者が遊べる
施設や場の
誘致や開催

☆ (ラウンドワンや
eスポーツ大会など)

今回のように
若者の交流が
職種を超えてできたら。
若者の意見を
聞いてもらえるのは
住みやすさにつながるのでは

山形で自立している大人と
一緒に過ごすチャンス
を提供する
(会食、バイトなど)

食や歴史文化、自然など
山形の素晴らしいものを
楽しいと思えるような
教養教育の機会を
充実させる



大学などで
雪かきのボランティアなど
地域活動をすると
単位をもらえる仕組み

ボランティアは
教育効果がとても高く、
学校以外の居場所にもなる。
高校、大学生が
もっと参加できるとよい

小さい時から
ボランティア等で
地域に関わると、
地域の良さが分かる

中高生に遊びを
開発してもらい、
空き施設を活用する。
子供に聞くと
良いアイデアが
見つかりそう

産業と働き方

山形といえばおじいちゃん
が多いイメージで見られる。
ワークライフバランス、
ワークミックスができる
元気な山形
という印象を付けたい

活力ある働き方を
体現できる場所になりたい

山形県発の産業を

発展させる。
そのために若い人に
バトンタッチしていく
仕組みが必要

若者が働ける場所を 増やす。

独立できるような
環境づくりを進める

なりたい職業に
就いている
【少し上の先輩の話が
聞きたい
(飲み会のようなノリで)】

起業を考えている。
起業支援は
行政ではなく

起業家や企業に
主導してほしい

友だちと一緒に
企業見学に行けたり、
山形のUターン就職を
考えている人同士の
仲間作りを行う

やりたいことがあっても
お金を集めないといけない。
各方面のサポートが
あるとうれしい

住むのは山形、
働くのは関東(の企業)。
オンラインも駆使して
そんな生活ができれば

交通

バス以外の
公共交通機関の整備。
例えば、移動と合わせて
景色を楽しむ
「まちなかロープウェイ」

駅から目的地まで
安く乗れる
タクシーを配置する。
点在している
観光スポットを結ぶ
インフラを整備する

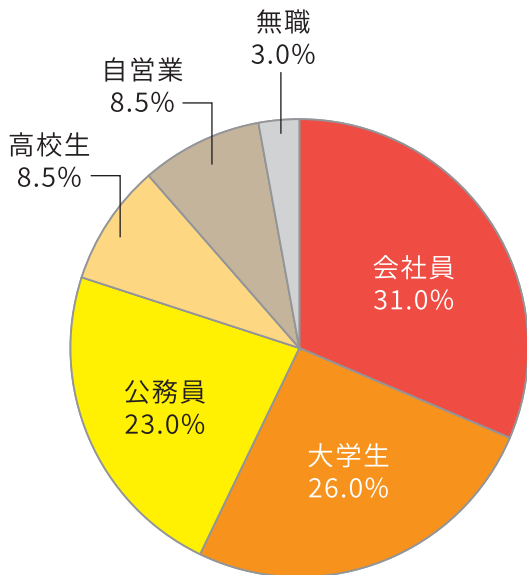
交通の利便性が悪い。
高齢になっても
不安のない
コンパクトシティーが
できれば良い

首都圏まで
3時間かかる
移動時間を
短縮する

アンケート結果

やまがたワカモノ本音会議終了後にメールで参加者に依頼し、35件の回答がありました。

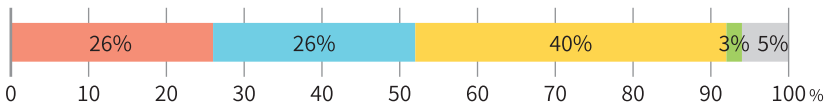
● アンケート回答者の属性



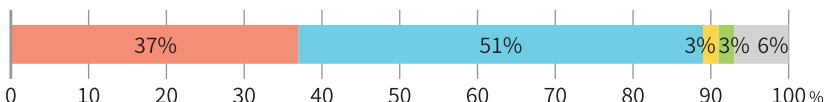
● 会議の満足度

■ 非常に満足 / ■ 満足 / ■ ふつう / ■ 不満 / ■ 非常に不満 / ■ 該当しない

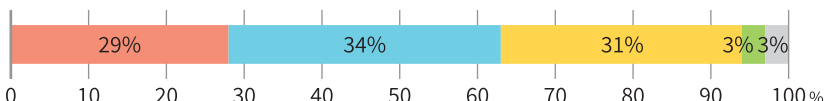
第1部 全体セッション「わたしたちの山形を知ろう」



第2部 グループトーク「聞かせて!キミの山形へのアイデア」

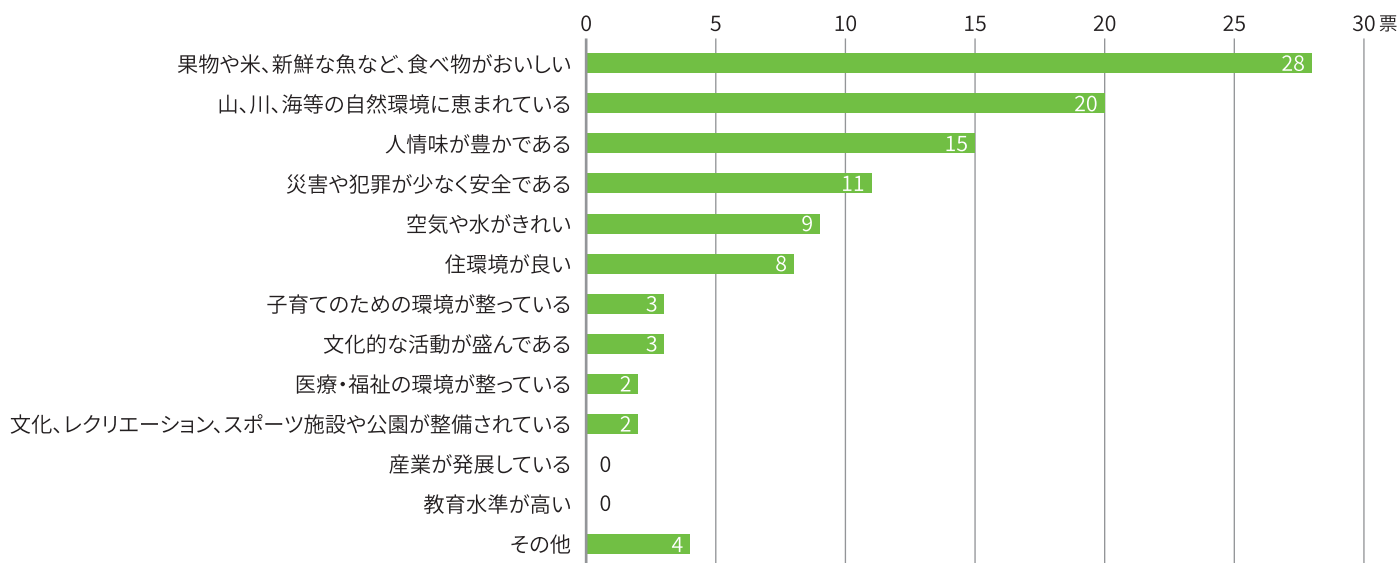


第3部 全体セッション「わたしたちの山形をこうしていきたい!」



● 山形県の魅力

あなたが友だちなどに自慢できる山形県の誇り、魅力は何ですか？(あてはまるものを3票まで)



「その他」回答...真面目で熱くなれる潜在層が多い/他にはできないような遊び方がある/人がいい/博物館などが多くが無料で利用できる

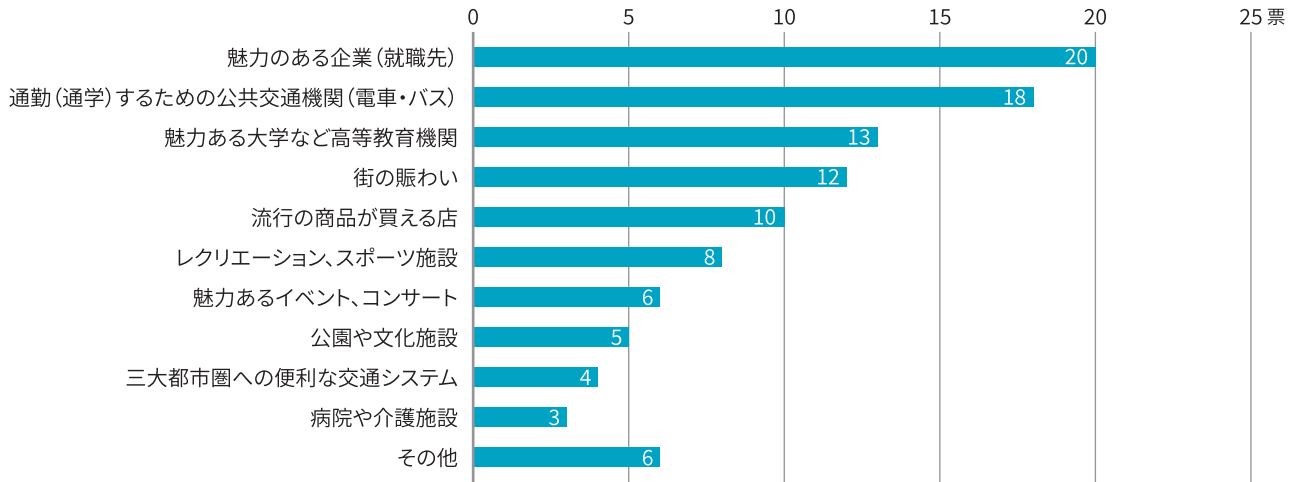
● やまがたワカモノ本音会議について

会議に参加してためになったこと

今の山形の少子高齢化の実態を詳しく知ることができた / 県内在住者と県外在住者で幸福感や魅力の感じ方が違うのは新鮮だった / 山形のためにアクションを起こしている運営の方や、自分と同様に他県に就職しても山形への愛をもつ人と交流できたこと / 同世代の考えを聞くことができ、未来の山形を創造するモチベーションがさらに高まった / 他業種の皆さんが今のようなことを考えて生きているのかを知ることができ、刺激をもらうことができた

● 山形県に不足しているもの

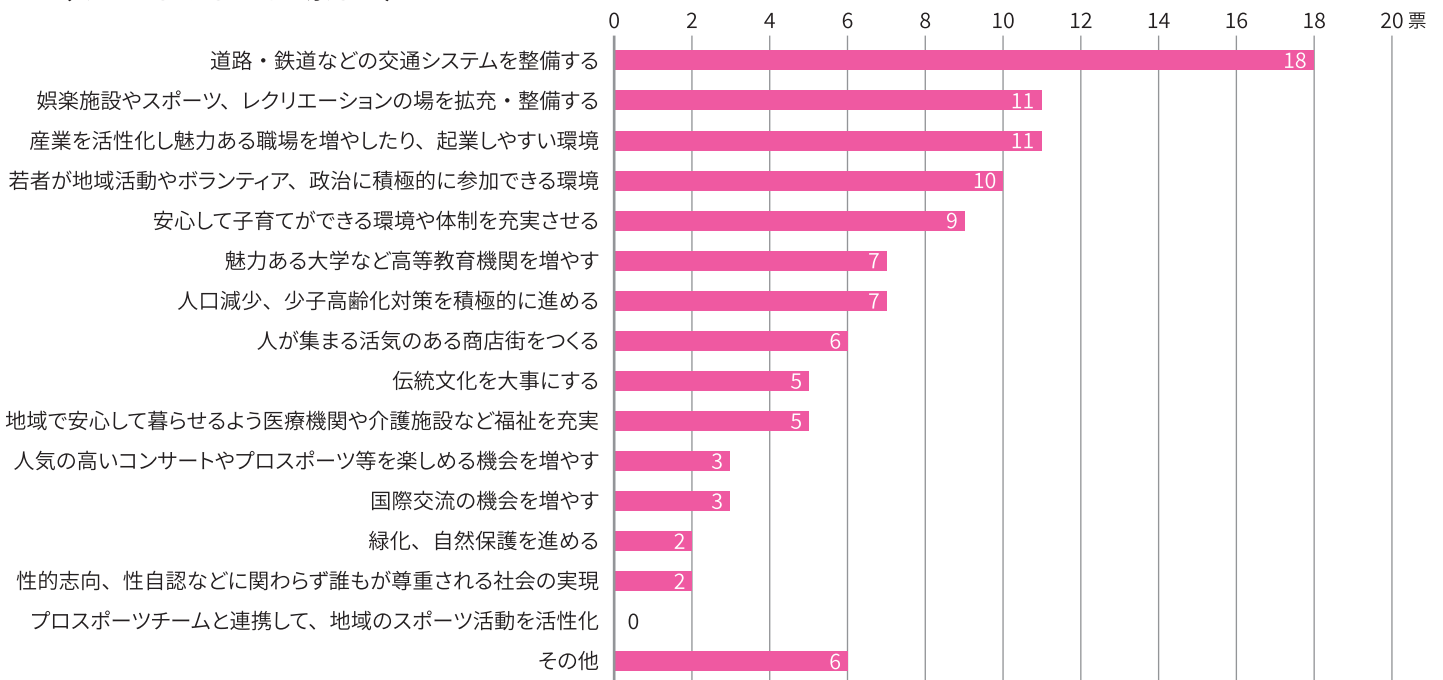
あなたにとって、現在の山形県に不足しているものは何ですか？(あてはまるものを3票まで)



「その他」回答... 県内の観光をするにも交通システムが不十分／魅力ある人材との接点、若い人の受け身でない自発的で話を聞くマインド／世界の活力の活用及び持続性・俯瞰性・戦略性のある政策立案と実践／駐車場／県外への交通網／産後、老後も安心して暮らすことができる環境。多様性を受け入れてもらえる価値観

● どんな取り組みが必要か

あなたは、未来の山形県を良くするためには、今後10年間でどのような取り組みをすればよいと思いますか？(あてはまるものを3票まで)



「その他」回答... 稼ぐ頭を持つ。稼ぐ意識の人が増える(資本主義の理解と対応)／支援制度、就職情報について若者への情報伝達／今あるバスやタクシーなどのシステムを見直すだけでも観光がしやすくなり、旅程も組みやすく1日の充実度が変わる／関係人口の発想を政策に取り入れる／街の賑わいをつくる／他県、他の国との幅広い交流で価値観を広げる機会

語りきれなかったアイデア

山形の災害の少なさ、天気の良い、治安の良さは国内でトップクラスだと思う！ / この会議をもっと多くの若者を集めて実施しては？長期的な目線で全国の若者から選ばれるような山形になるための政策につながるとよい / zoomのサポートをやりたいです。高校生や大学生、フリーランスでも、時間があってITに明るい人がたくさんいます。山形に貢献できるなら、ボランティアでも手伝ってくれる人はいるはず。そのボランティアの先に、お金じゃない何か素敵な報酬があれば / 若者の起業支援。進学支援。若者の意見を叫ぶ会の実施 / 気軽に寄れて、身近な人には言いにくい話を話せる居場所が欲しい / 孤立しないよう世代や性別ごとに継続的に話を聞いてくれる人や組織を設置し、困っている人に届く広報を行う / 立場が上な方が現場をないがしろにしないようになってほしい / 若者のチャレンジを応援する環境づくりが必要

進行を担当してくれた
若者サポーター紹介



難波 竜次さん

合同会社dano 共同代表／
一般社団法人mokke 代表社員／
YouTuber アフロりゅうじ



遠藤 友紀さん

cafe mamenoki オーナー



笹渕 美香さん

アロマ&植物療法
kamikobuchi 代表



菅原 明香さん

複業ナリワイist あかるさかおる／
ナリワイALLIANCE代表



鈴木 遥子さん

鶴屋 代表



田中 麻衣子さん

株式会社キャリアクリエイト
コーディネーター



海谷 美樹さん

AISOHO株式会社
代表取締役



浅野 剛さん

株式会社かねやま村 代表取締役／
株式会社神山の郷 取締役



中村 哲士さん

独立系ファイナンシャルプランナー／
健康経営アドバイザー



工藤 美季さん

一般社団法人terra 代表理事／
tsunagu 代表／
ホワイトボード・ミーティング®認定講師



佐藤 恒平さん

地域振興サポート会社まよひが
企画代表／
総務省 地域力創造アドバイザー



鈴木 直さん

鈴木すなお
行政書士事務所 代表行政書士／
一般社団法人ひとむすび

若者サポーターとは

自ら地域活動を実践しつつ、「若者の活動を応援したい!」という熱い意気込みを持つ方々が〈若者サポーター〉として登録してくださっています。「地域のために何かしたい!」と思ったら、〈若者支援コンシェルジュ〉に相談してください。案件に最適な若者サポーターの方が、経験と知識を生かして助言したり、作業を手伝うなど活動をサポートします。

やまがたワカモノ本音会議では、そんな若者サポーターの方々がグループトークのリーダーとして意見をまとめてくれました。

若者支援コンシェルジュとは、
県が設置する、地域のために
何かしたい若者の相談窓口です。

若者向けの元気応援窓口
若者支援コンシェルジュ



相談や活動の詳細に
ついてはHPから

令和5年度 若者のオンライン対話事業

山形県しあわせ子育て応援部多様性・女性若者活躍課

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号

TEL 023-630-2694